

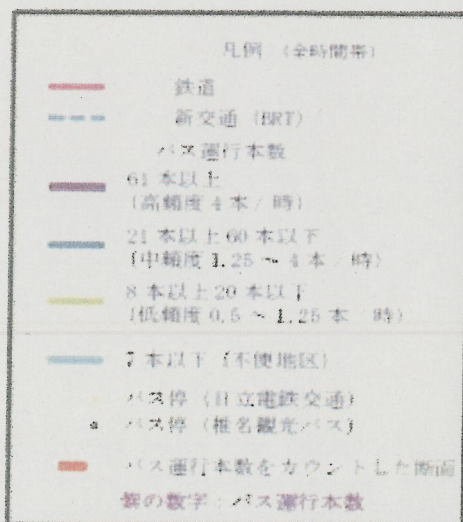
日立市公共交通政策の視察報告について

市内公共交通のこれまでの取組について

2 十王地区の取組 (路線バス赤字補助)

(2) 中里地区みなみ号 (デマンド乗合タクシー)

3 路線バス パートナーシップ事業



(1) 坂下地区みなみ号 (定時定路線乗合タクシー)

市内公共交通のこれまでの取組について

1 公共交通不存在地区の取組

概ね JR 駅の駅から 1 km 以上、バス停留所から 300m 以上の地区を、公共交通不存在地区と定義し、地域住民が取組む移動手段確保策を支援

(1) 坂下地区みなみ号（平成 19 年 5 月～）

ア 運行主体	地域住民が組織する「坂下地区乗合タクシーみなみ号運営委員会」タクシー事業者に乗合タクシーの運行を委託		
イ 運行形態	路線バスと同じ、 定時定路線		
ウ 運行エリア	久慈川日立南交流センターから JR 大甕駅までを 4 往復/日		
エ 使用車両	10 人乗りワゴン車		
オ 運賃	1 乗車 200 円で、利用者は年間約 4, 200 人		
カ 運行赤字分	各世帯から年額 2, 000 円を徴収し、運行経費の一部に充当 不足する運行経費の 7 割を上限に市から補助		
キ 収支状況 (24 年度)	運賃収入	781 千円	運行経費 6,039 千円
	世帯負担金	1,308 千円	
	市補助金	3,936 千円	
	その他	14 千円	
	計	6,039 千円	計 6,039 千円



(2) 中里地区なかさと号（平成 21 年 7 月～）

ア 運行主体	地域住民が設立した NPO 法人が、過疎地有償運送の登録を行い、自ら運行
イ 運行形態	デマンド運行 （電話予約により、希望する場所から希望する場所へ）

ウ 運行エリア	中里学区内（学区外は、鞍掛山霊園だけ運行）			
エ 使用車両	8人乗りワゴン車 2台			
オ 運賃	1外出300円で、利用者は年間約6,200人			
カ 運行赤字分	各世帯から年額2,000円を徴収し、運行経費の一部に充当 不足する運行経費の7割を上限に市から補助			
キ 収支状況 (24年度)	運賃収入	862千円	運行経費	5,928千円
	世帯負担金	938千円		
	市補助金	4,128千円		
	計	5,928千円	計	5,928千円



2 十王地区の取組

平成11年にJRバスと日立電鉄バス(現日立電鉄交通サービス㈱)の路線バスが廃止され、椎名観光バス㈱が代替バスとして運行を開始

高齢者や児童・生徒の移動手段を確保するため、市が指定する日中便の赤字分を補助

ア 運行主体	椎名観光バス㈱
イ 路線名称	山部線、いぶき台線、鶯の岬温泉方面、高原・黒坂方面
ウ 運行エリア	十王町地区
エ 使用車両	路線バス車両（中型バス、小型バス）
オ 運賃	1乗車200円の定額（ただし、70歳以上は100円、通学利用は無料）
カ 利用状況	指定便利利用者総数 26,034人（平成24年4月～平成25年3月）

キ 収支状況	運賃収入	3,655 千円	運行経費	20,406 千円
	運賃補助	△199 千円		
	市補助金	16,751 千円		
	計	20,406 千円	計	20,406 千円

3 路線バス運行地区の取組

バス利用者の減少によるバス路線の廃止・縮小等が懸念される地区住民と路線バス事業者とが協定を締結し、乗車促進活動や運行内容の見直しを行うことで、既存バス路線の維持・確保・充実を図るパートナーシップ事業の導入を支援

(1) 諏訪学区（平成22年2月～）

ア 運行主体	日立電鉄交通サービス㈱
イ 路線名称	平和台霊園線
ウ 運行エリア	日立駅～平和台霊園
エ 使用車両	路線バス車両（中型バス、小型バス）
オ 運賃	通常の路線バス運賃と同じ
カ 協定内容	（住民）対前年度比 100%の乗車率を目標に乗車促進活動を実施 （電鉄）小咲台団地、平和台団地、潮見台団地内を運行する路線バスの一部をフリー乗降で運行するとともにバス停留所を新設
キ 利用状況	平日1日当たりの乗車人数（平成24年11月） 前年度比 111.1%

(2) 高鈴台団地（平成23年11月～）

ア 運行主体	日立電鉄交通サービス㈱
イ 路線名称	高鈴台団地線
ウ 運行エリア	日立駅～高鈴台団地
エ 使用車両	路線バス車両（中型バス、小型バス）
オ 運賃	通常の路線バス運賃と同じ
カ 協定内容	（住民）対前年度比 110%の乗車率を目標に乗車促進活動を実施 （電鉄）高鈴台団地内を運行する路線バスの一部をフリー乗降で運行するとともに、イトーヨーカドーを経由するルートに変更

キ 利用状況	平日1日当たりの乗車人数（平成24年11月） 前年度比 109.9%
--------	---------------------------------------

(3) 中丸団地（平成24年2月～）

ア 運行主体	日立電鉄交通サービス(株)
イ 路線名称	中丸団地線
ウ 運行エリア	常陸多賀駅～中丸団地
エ 使用車両	路線バス車両（中型バス、小型バス）
オ 運賃	通常の路線バス運賃と同じ
カ 協定内容	(住民)対前年度比105%の乗車率を目標に乗車促進活動を実施 (電鉄)中丸団地内を運行する路線バスの一部をフリー乗降で運行するとともに、マルト諏訪店を経由するルートに変更
キ 利用状況	平日1日当たりの乗車人数（平成24年11月） 前年度比 112.3%



(4) パートナシップ事業への支援

- ア 実証運行に係る経費は、日立市公共交通会議が負担
- イ 本格運行に係る経費は、日立電鉄交通サービス(株)が負担
- ウ 自らの地域の公共交通利用促進活動に取り組む地域住民で組織する団体に、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金を交付（上限10万円）